

トヨタ流「全員活躍」の推進

「人事部長クラブ」4月例会

をつかみとる』仕組みし、資格・職種・職場づくり（全職種を対象とした職種変更、マシ型研修の強化など）ネジメントの役割定義に現在、取り組んでいると述べた。

・育成・評価の見直ると述べた。

日本生産性本部は4月19日、第97期「人事部長クラブ」の4月例会を都内で開催（オンライン併用）した。当日は「モビリティカンパニーへの変革に向けた『全員活躍』の推進」をテーマに、トヨタ自動車人事部長の南井正之氏が講演した。

冒頭、南井氏は、トヨタは自社を「自動車会社」から、モビリティに関わるあらゆるサービスを提供し多様なニーズに応えられる「モビリティカンパニー」に再定義していると説明したうえで、人

材に対する考え方のキ

した1950年の大争

「幸せを量産する」ことを

議を原点として「対立的な労使関係は労使と

もに不幸になる」こと

を地道に引き継いでき

「幸せを量産する」ことを

たことや、労使関係は

職場の「人間関係の総

和」であり、各職場にお

「幸せを量産する」ことを

ける良好かつ健全な人

間関係がトヨタの競争

力の源泉であること、

「幸せを量産する」ことを

2020年の労使協議

会から開催方式を変更

し、トヨタが抱える課

「幸せを量産する」ことを

題について、トップ・組

合員・マネジメントが

参加し、本気で本音の

「幸せを量産する」ことを

議論を行うことを重視

していることなどを説

明した。

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価

「幸せを量産する」ことを

項目に「人間力」を入

れたことや、幹部層の

資格の大括り化を行

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価

「幸せを量産する」ことを

「人間力」と「実行力」を兼

ね備えた人材を評価す

ることに変更し、評価